

<福岡航空地方気象台に生まれ変わりました>

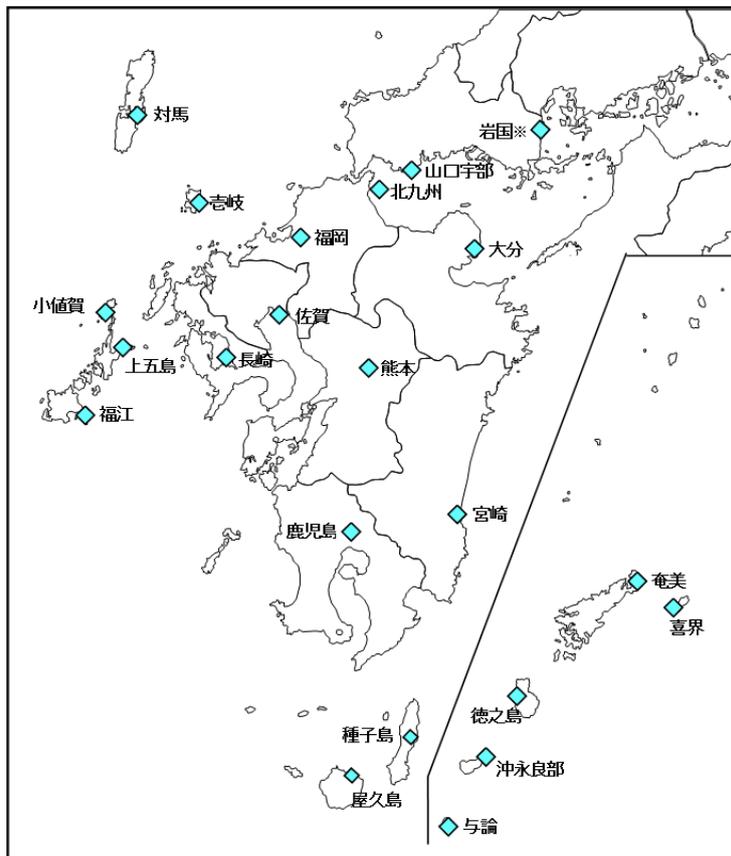
平成 30 年 4 月 1 日から福岡航空測候所は、福岡航空地方気象台となりました。

これにより、同年 8 月頃には新たに福岡空港向けに着陸用飛行場予報（TREND）と離陸用飛行場予報（TAKE-OFF FCST）の発表を開始する計画です。

種 類	有効期間	目 的
運航用飛行場予報 (TAF)	発表時刻から 30 時間後まで	航空機の運航用です。
<u>着陸用飛行場予報*</u> (TREND)	2 時間	到着予定前おおむね 1 時間以内の航空機の着陸用です。
<u>離陸用飛行場予報*</u> (TAKE-OFF FCST)	6 時間	出発予定前おおむね 3 時間以内の航空機の離陸用です。

※平成 30 年 8 月頃 開始予定

また、鹿児島航空測候所は鹿児島航空気象観測所へ移行します。これにより、観測通報業務を外部委託し、福岡航空地方気象台は、鹿児島航空気象観測所と屋久島航空気象観測所の管理官署となります。合わせて鹿児島空港と屋久島空港の予報業務、解説業務は、遠隔方式により、福岡航空地方気象台が担当することになります。



担当する九州・山口県の空港

※ 岩国飛行場については、気象観測は米軍が行い、気象台は解説業務を担当しています。